



6<sup>TH</sup> GOLD SYMPOSIUM  
**THE POWER OF INCLUSION**

インクルージョン・パワー

新たな視点をダイバーシティに活かそう  
*Viewing Diversity Through Different Lenses*

**FRIDAY, September 19, 2014 • TOKYO AMERICAN CLUB**

プログラム

**8:15 – 8:45** 受付

**8:45 – 9:40** 開会

建部 博子

NPO Global Organization for Leadership and Diversity (GOLD)

ケネディー大使ご挨拶

「インクルージョンの旅」

ジョンソン・マリリン

インスピレーション・スピーカー Marilynjspeaks.com

**9:40 – 10:40** 女性経営者パネル：インクルーシブ・リーダーを目指して

茅野 みつる

伊藤忠商事 執行役員兼法務部長

小林 いずみ

ANA ホールディングス株式会社 社外取締役;

サントリーホールディングス 社外取締役; 三井物産株式会社 社外取締役

ファシリテーター

ドイ・ローヤン

プルデンシャル・ファイナンシャル コーポレート・チーフ・エシックス・オフィサー

地球環境、テクノロジー、労働力の構成が変化している今、企業が競争で優位に立つ斬新な利点を保持するためには、ダイバーシティはインクルージョンなしで成立しません。「マジパン層をつき破った」女性経営者たちがインクルーシブ・リーダーの意味について説明し、信頼とインクルージョンの文化を形成、発展する方法について、意見を交わします。

**10:40 – 11:00** 休憩

**11:00 – 11:30** 女性たちの自己実現：メディアとエンターテイメントからの視点

ディノノ・マドリン

Geena Davis ジェンダー・イン・メディア研究所 CEO

経済の成長に伴い、世界中の消費者から映画の需要が高まっています。東ヨーロッパ、南アメリカ、東南アジア、中国の映画産業は、過去5年間で爆発的な成長を遂げました。映画が世界中で見られるようになったことで、人々が自分自身の姿や社会での役割をどう見るか、特に女性と少女たちの社会的、文化的な見方に、大きく影響を与えています。このセッションでは、「Geena Davis 研究所：メディアにおける性差」が行った、映画における男女のイメージに関しての、分析結果をシェアします。

**11:30 – 12:45** 第4の波への進化：21世紀に求められる企業のダイバーシティ&インクルージョン

カーター・P・アンソニー

ジョンソン・エンド・ジョンソン 副社長兼チーフ・ダイバーシティ・オフィサー

岩田 ケイ

K. Iwata アソシエイト・インク 創設者兼社長

メイナードとマーティンズは著書「第四の波、21世紀のビジネス（原題：The Fourth Wave, Business in the 21<sup>st</sup> Century）」の中で、今後の企業にはこれまでと根本的に異なる未来が訪れると予見しています。価値感、個人的な品位、ビジネスの原則、環境に対する懸念、組織内および組織外の人間の厚生へのフォーカス、そしてグローバルシチズンシップという考え方、これらが重要な特性となるのです。そしてこれらの特性の基礎となる原則と価値感、ダイバーシティ&インクルージョンの基礎でもあります。プレゼンテーションでは、第四の波とは「何か」、そしてその「理由」について、また、ジョンソン・エンド・ジョンソンのダイバーシティ&インクルージョン戦略が、その進化の過程でいかに重要な推進力であるかについて学びます。

12:45 – 13:00

ブリッジ・ビルダー賞

13:00 – 14:00

昼食

14:00 – 15:15

分科会

## 1. エンプロイ・リソース・グループ：先進企業のD&Iへの取り組みと効果

ジャクソン・ティーサ

MUFG Union, Bank, N.A. ダイバーシティ&インクルージョン副社長

ジェームス・フィラス

MGM リゾート・インターナショナル 上級副社長、特別訴訟顧問弁護士兼チーフ・ダイバーシティ・オフィサー

エンプロイ・リソース・グループは、組織のどんな階級の従業員でもダイバーシティ&インクルージョンのプロセスに参加できるようにするためのものです。上手に利用すればインクルーシブな環境を創造、維持する助けとなり、それによって従業員の士気、生産性、革新性、関係性が高まります。これらはすべてビジネスの成功に影響を与える要素です。

この分科会は、2部構成になっています。まずはダイバーシティ&インクルージョンのリーダーから、エンプロイ・リソース・グループを構築、活用、維持する方法についての説明を聞きます。次に、対話型の学習サークルで、質問をしたり、学んだことを共有したり、エンプロイ・リソース・グループについてもっと知りたいと思っている人や、すでに実践している人たちと意見交換をします。

## 2. ソーシャル・インクルージョンの意義と重要性

### パネリスト

梶川 三枝

株式会社 Cheer Blossom 代表取締役; Sport For Smile 創業者兼代表

鵜浦 真紗子

Love to Nippon プロジェクト 創設者

テッド・トキオ・タナカ都市設計建築事務所 環境マネジメント・ディレクター

牛島 慶一

EY 総合研究所株式会社 ビジネス調査部 主席研究員

### モデレーター

## 佐々木ジャネル

エグゼクティブディレクター・ダイバーシティ&インクルージョン  
EYアドバイザリー株式会社

世界銀行はソーシャル・インクルージョンを、社会を構成する人々やグループの条件を改善するプロセスと定義しています。ソーシャル・インクルージョンは、すべての人が自分たちの生活に影響を与える決定事項に関して意見を言えること、そして市場、サービス、政治的、社会的、物理的なスペースに平等にアクセスできることを保証するものです。多様性を認めて尊重し、弱い立場にある様々な人たちが何かに所属しているという意識を持てるよう、彼らの社会参加と平等性を向上させます。このセッションでは、社会から取り残された人々がいかにプログラムやサービスを使って急増するチャンスを活用しているか、そして企業が、彼らが全面的に参加できるようにするためのポジティブな環境をいかにして作り出すことができるかについて学びます。

### 3. 意識改革：仕事とプライベートを充実させる鍵

#### パネリスト

##### イバンス・デニース

IBM マーケット・デベロップメント 副社長

##### 向井 陽美

ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部メディカル戦略部  
部長

##### ヤマダ・サキコ

スプレンドントグループ 創始者兼 CEO

#### モデレーター

##### 堀井 紀壬子

一般社会法人セルフエスティーム研究所 代表理事

女性にとって仕事とプライベートの両方をバランスよく充実させることは、かつてなく難しくなっています。両方を手に入れることが可能なのか、また、それにはどうしたらいいのか、まだ悩んでいる女性もいます。時に女性は（男性もですが）無意識のうちに自分でバリアを作ってしまう。自分は何かを達成する人間か、または傍観する人間か、それとも「こうであるべきだ」と口で言うだけの人間か、自分自身に問いかけてみましょう。成功する人というのは、生まれつき人より才能があるわけではありません。彼らは目標を達成するために、より努力をしているだけです。そしてどんなに難しくても、成功するための方法を見つけ出すのです。仕事とプライベートの両方を充実させたいなら、理想的な自分に変わりましょう。そのパワーを持つのはあなた自身です。このセッションでは多様なパネリストたちが、皆さんが目的を達成するのに役立つプロとしての意見、ツール、ヒント、戦略を共有してくれます。

15:15 – 15:30

休憩

15:30 – 16:30

男性の視点で紐解く「リーダーシップ、共同参画、パートナーシップ」

##### アンワルル K.チャウドリー大使

前国連事務次長，国連上級代表

##### 平井 康文

シスコシステムズ合同会社 代表執行役員社長

##### リマ・ジェラルド

バクスター株式会社 代表取締役会長兼社長

## ファシリテーター

イバンス・デニース

IBM マーケット・デベロップメント 副社長

ピーク・J・コンスタンス

MVI アドバイザー 共同創設者; インパクトリーダーシップ 21 共同創設者

カンバセーション・ウィズ・メンは、男女がオープンに会話をする機会を与え、互いに協力し合えるような雰囲気を作り出す、建設的なプラットフォームです。リラックスした環境で双方の考えを明かし、論議することで、男女間の調和を促進できます。男女間のコミュニケーションは、組織の結束とビジネスの成功に影響を与えかねない非常に重要な問題です。カンバセーション・ウィズ・メンはリーダーシップのツールであり、この問題を解決するための先制戦略です。男女間の調和がとれた個人、チーム、企業、団体になるための基盤をいかにして作るか、民間、公共セクターのリーダーたちが意見や経験を共有し、話し合います。

**16:30 – 17:00**

**ハリウッドと日本を繋ぐカルチャーの架け橋**

**奈良橋 陽子**

ユナイテッド・パフォーマーズ・スタジオ 代表; プロデューサー、演出家、キャスティングディレクター、作詞家

外交官の娘であり、昭和天皇のかつての執事の孫娘である奈良橋氏は、若い時代を過ごしたオタワとモントリオールから故郷である東京まで、非常に多様な環境で育ってきました。女性監督やプロデューサーがマイノリティーである業界であるにもかかわらず、試練を乗り越え、今やハリウッドで最も著名な日本人となりました。そして、ディレクター、プロデューサー、作詞家として、ハリウッドと日本をつなぐ「架け橋」として活躍しています。グローバルな環境でダイバーシティ&インクルージョンが非常に重要である理由と、奈良橋氏ご自身が成功のためにどのようにして障害を好機に変えてきたかを共有してもらいます。

**17:00 – 17:15**

**閉会・実践へのステップ**

**建部 博子**

NPO Global Organization for Leadership and Diversity (GOLD)

**17:15 – 18:30**

**ネットワーキング・レセプション**